

こんにちは、月刊さくらです

5月になり、心地よい陽気が続いています。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもありますので、引き続きご利用者のご様子を丁寧に観察しながら、安心してお過ごしいただけるよう努めています。

今月は、療養棟での皆様のご様子をお届けいたします。



月刊さくら

2026年5月
発行
京都綾部
さくらホーム
TEL
0773-40-1066
FAX
0773-40-1075

今年も施設の周りでは、桜が咲き誇りました。さくらホームは、桜並木に囲まれた場所に建っており、ご利用者は日々移りゆく外の景色を眺めながら、「満開はいつ頃になるかな」と職員に声をかけておられました。そして迎えた満開の日。一面に広がる桜の花と同じように、ご利用者の表情にもパッと花が咲いたような笑顔が広がりました。短い期間ではありますが、毎年楽しみにされている大切なひとときです。来年も、皆様と一緒に満開の桜を見上げられることを楽しみにしております。



4月は、ご利用者に季節を感じていただける楽しいレクリエーションを行いました。

● おやつ作りレクリエーション

今月は「イチゴパフェ」と「ココナッツミルクプリン」を手作りしました。イチゴを丁寧に切っていたり、プリンを器に盛り付けていただいたり、皆様それぞれの工程を楽しみながら参加されていきました。完成したパフェやプリンを食べて「おいしいわ」と笑顔がこぼれ、和やかな時間となりました。



● アニマルセラピー（4月22日開催）

ポニー、ヤギ、ヒツジ、ウサギなど、さまざまな動物たちが来てくれました。「かわいいなあ」と声をかけたり、実際に触れて「モフモフしてる」と喜ばれたり、動物との触れ合いを存分に楽しんでいただきました。

『アニマルセラピー』は、動物と触れ合うことで心身の健康に良い影響があるとされ、認知症予防やリハビリにも効果が期待されています。今後も継続して実施していく予定です。

